

2026 年度精密工学会秋季大会学術講演会
生産原論セッション開催報告

開催日時:2026 年度 9 月 15 日(火)14:15-16:00

会場:東北大学川内キャンパス C 棟 4F K室

参加者:40 名

プログラム:以下6件

[生産原論 (1)] 14:15-15:00

座長 林 偉民(群馬大学)

K22 梵鐘の振動モードと音色に関する基礎的研究(第 6 報) - 鐘樓の製作 -

○神 雅彦(日本工大)、林 正弘(QVI ジャパン)

K23 幾何公差におけるデータム定義の再考 —自由度拘束の観点から

- 第 1 報:JIS B0022 と ISO 5459 の拘束構造比較と 2 データム系の欠落 -

○林 正弘(QVI ジャパン)、中村 聡(")、平久悦之(日本工大)、上野 滋(")、神 雅彦(")、
鈴木伸哉(関東学院大)

K24 幾何公差におけるデータム定義の再考—自由度拘束の観点から

- 第 2 報:設計表現の違いに起因する自由度認知と MBD 教育への示唆 -

○林 正弘(QVI ジャパン)、中村 聡(")、平久悦之(日本工大)、上野 滋(")、神 雅彦(")、
鈴木伸哉(関東学院大)

[生産原論 (2)]15:15-16:00

座長 神 雅彦(日本工業大学)

K26 金型研磨の DX 化

○松澤正明(KAGAMI)、小松隆史(小松精機工作所)、水野綾介(")、長洲慶典(長野県工総セ)

K27 ローラーヘミング加工における 3 方向の荷重調査

○野邊隆翔(群馬大)、今井健太郎(")、林 偉民(")

K28 ローラーヘミング加工の非直線部における成形挙動の解析と実験的評価

○岡田翔矢(群馬大)、今井健太郎(")、林 偉民(")

【所感】セッション(1)では、モノづくり教育における実施例が示された。また 3D-CADを用いた設計と空間認識の
関係からJISに関する問題提起があった。セッション(2)では、職人技の見える化、加工のモニタリング、解析が示
され、いずれの発表に対しても高い関心が寄せられた。